

Société Franco-Japonaise de Philosophie

日仏哲学会

会報93号 2021年2月19日

【重要】2021年春季大会は、オンライン(ZOOM)開催となります。

新型コロナの感染状況の今後の推移がなお不透明な状況を踏まえて、理事会での協議の結果、3月20日(土)に早稲田大学にて開催が予定されていた春季大会は、2020年秋に続き、オンライン(ZOOM)での開催とすることに決まりました。会員の皆様には、ご負担とご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

大会への参加方法などは、基本的には2020年秋の大会の際と同じです。ZOOM使用の際のマニュアルや注意事項などについては、この会報と共にお送りする「日仏哲学会オンライン大会の手引き」をご参照下さい。

当日のアクセスのためのZOOMミーティングのURL等は、会員外への漏洩を防ぐため、大会の数日前にメール(メール未登録者には郵便)でお伝えします。連絡を確実に行うため、メールアドレスを事務局に伝えていない方、または変更のある方は、事務局(secretariat@sfjp-web.net)までご連絡下さい。

ご質問やご相談には可能な限り対応いたしますので、事務局(secretariat@sfjp-web.net)までご連絡下さい。

【春季大会プログラム (HPにも掲載します)】

日時 2021年3月20日(土)

場所 オンライン会議(ZOOM)

一般研究発表 10時-12時20分

*発表時間帯 ① 10時-10時40分 / ② 10時50分-11時30分 / ③ 11時40分-12時20分

第一部会 (司会:廣瀬 浩司(①)/澤田 直(②③))

- ①福井 有人 ミシェル・ド・セルトーと歴史叙述の詩学
- ②Evgeny Blinov La chute des réseaux, la voie douloureuse de la « production de faits », la fin du monde commun : Bruno Latour en quête de la collapsologie optimiste.
- ③河野 哲也 私たちはファノンと南アフリカから何を学べるか——ファノンの解放思想、スティーブン・ビコ、ネルソン・マンデラ

第二部会(司会:米虫 正巳)

- ①佐原 浩一郎 ドゥルーズとガタリ『哲学とは何か』第一部「哲学」におけるドゥルーズ「1980年ライブニッツ講義」
- ②上野 隆弘 奇形学の観点からみたダゴニエ哲学——ルネ=ジュスト・アユイへの評価に着目して
- ③池田 信虎 中期フーコーにおけるカンギレムの影響について

第三部会 (司会:中 真生)

- ①小田 麟太郎 何処から形而上学を批判するのか——ナンシーとハイデガー、時間性の問題を巡って
- ②中間 統彦 デリダにおける定言命法の相続——《Il faut》の作用を巡って
- ③松田 智裕 年齢と時代——デリダの哲学教育論における「諸力の闘争」について

シンポジウム 14時—17時30分

- ・テーマ: 「感染症の時代の哲学: 資材としての人間の身体」
- ・司会: 長坂真澄(早稲田大学)
- ・提題者:
 - 田中祐理子(京都大学) 「WHOという歴史: その「危機」に表現されるものについて」
 - 坂本尚志(京都薬科大学) 「ウイルス、病、身体—他性と政治のフーコー的視座」
 - 渡名喜庸哲(立教大学) 「遠隔時代における身体: シヤマユウ/レヴィナスとともに」

☆ 関連イベントのご案内

日仏哲学会提案型ワークショップ 「ベルクソン『試論』の思想史的ポテンシャルを探る」

日時: 2021年3月19日(金) 16-19時

場所: ZOOM ※要事前登録

冒頭挨拶: 平井靖史

司会: 藤田尚志

提題者: 安孫子信、杉村靖彦、檜垣立哉、合田正人(提題順)

主催: PBJ (Projet Bergson au Japon)

*参加をご希望の方は、下記URLからGoogleフォームへの登録をお願いいたします。開催日までにミーティングURLおよびパスワードを送付いたします。 <https://forms.gle/PMix1CwA4kWcQ7Dk7>

【お知らせとお願い】

1. 学会誌電子化について

会報92号でお知らせした通り、2020年9月12日の総会で、「冊子体の少数数刊行の保持など必要な工夫を盛り込みつつ、次回の総会での決定を目指して、学会誌電子化の具体的な検討に入る。ただし、J-Stageへの手続き依頼は、それに要する時間を考慮し、ただちに開始する」という理事会の提案が承認されました。学会誌関係の費用の増大による学会財政の構造的な危機、および学会誌電子化により開かれる便益と新たな可能性を踏まえた決定です。これを受けて、西山雄二理事を代表とするワーキンググループを設置し、目下検討作業を進めています。この件について、ご意見やご質問などございましたら、事務局までお寄せ下さい。

2. 2021年秋季大会、2022年春季大会のシンポジウムについて

それぞれ次のような概要にて準備が進められています。どうぞ楽しみにお待ちください。

① 2021年秋季大会シンポジウム (2021年9月11日 東京都立大学)

- ・テーマ: 哲学者の講義録を読む(仮)
- ・企画責任者: 西山 雄二 (東京都立大学)
- ・趣旨: 近年、哲学者の講義録が続々と刊行されており、日本でも翻訳が出揃っている。現代の哲学者は教育者でもあった。彼らは公刊された著作とは異なる、いかなる教育実践をおこなっていたのだろうか。教育と研究の相違、話すことと聴くこと、教育法、教育的語り、リズムや調性、ソクラテス的産婆術を範とする真理の教示法、研究教育制度への哲学的な問い……。本シンポジウムでは、ベルクソン、メルロ＝ポンティ、フーコー、ドゥルーズ、デリダの講義録をもとに、教育の現場に立つ哲学者の姿に着目し、互いに比較・考察をおこなってみたい。
- ・発表者: 藤田 尚志(ベルクソン)、酒井 麻依子(メルロ＝ポンティ)、八幡 恵一(フーコー)、西川 耕平(ドゥルーズ)、西山雄二(デリダ)

② 2022年春季大会シンポジウム (日時・場所は未定)

- ・テーマ: 17・18世紀フランスの医学と哲学 (仮)
- ・企画責任者: 香川知晶 (山梨大学)
- ・提題者: 谷川 多佳子(筑波大学)「デカルトからライブニッツへ—メラランコリー、不安、情念」(仮)

寺嶋 雅彦(早稲田大学)「初期近代西欧における「熱狂」(という病)をめぐる言説—フランス 預言派、シヤフツベリ、ライブニッツ—」(仮)
山口 裕之(徳島大学)「コンディヤック『動物論』における生命論」(仮)

3. 会費納入のお願い

1に記しました通り、当学会の財政は構造的な危機に瀕しています。また、前回に続いてのオンライン開催となりますので、学術大会の際に会場で直接会費を納入していただくことができません。つきましては、会員の皆様には遅滞なく年会費(4000円)を納入して下さいますよう、改めてお願い申し上げます(末尾に記載の学会郵便振替口座から常時お振込みいただけます)。なお、3年間の会費滞納が確認された方には「学会誌」の発送、5年間の滞納が確認された方には「会報」の発送を停止しています。

なお、ゆうちょ銀行以外の金融機関からのお振込みは、以下をご参照ください。

銀行名：ゆうちょ銀行／金融機関コード：9900／店番：019
預金種目：当座／店名：〇一九店／口座番号：0194046

4. メールアドレスご登録のお願い

メールアドレスをご登録いただいている皆様には、「会報」をメール添付でお送りしておりますが、まだ「会報」を郵便でお受け取りいただいている、メール送付に切り替えていただける方は、下記事務局までご一報下さい。今回のようにオンライン大会になりますと、どうしてもメールでの一斉連絡が必要になります。ぜひご登録下さいますようお願いいたします。

5. ご住所の変更手続きのお願い

ご住所に変更があった場合は、日仏哲学会HP「入会手続き」(<http://sfjp-web.net/enter/enter.html>)に記載のグーグルフォームより、お早めにお知らせ下さい。学会誌を確実にお届けするためにも、ご協力よろしくお願いいたします。

【日仏哲学会事務局】

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学文学研究科 杉村研究室内

e-mail: secretariat@sfjp-web.net

郵便振替口座記号番号：00120-6-194046 / 加入者名：日仏哲学会